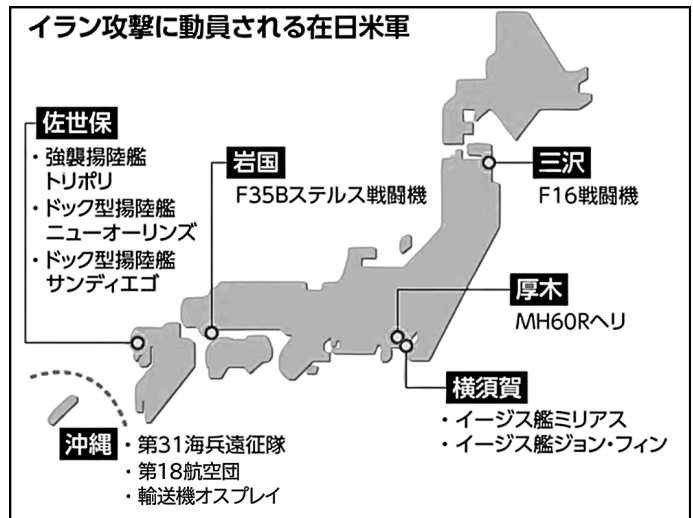


# 無法なイラン攻撃 への出撃拠点に 沖縄と日本が？！



## 戦争止めよ！米軍基地撤去の声を

米トランプ政権とイスラエルによるイラン攻撃は、国連憲章違反の侵略戦争そのものです。学校や大学、住宅、石油施設、橋や核施設も攻撃され、被害が拡大しています。世界中で非難の声が高まっているのに、高市首相は日米首脳会談でトランプ大統領を称賛し、「応援する」とまで言いました。しかも、在日米軍基地から陸海空の部隊がこの攻撃に参加しているのを容認しています。(右図参照)



### 沖縄からは、海兵隊部隊と オスプレイ、戦闘機が出撃

沖縄からは、「殴り込み部隊」海兵隊が2500人規模で長崎県佐世保を母港とする強襲揚陸艦に輸送機オスプレイと共に乗って出撃。嘉手納基地の第18航空団も出撃しています。いま2週間の「停戦」が行われていますが、もし戦闘が再開したら、これらの部隊が凄惨な地上戦や、「イランを石器時代に戻す」残虐な攻撃を繰り返すことになるのです。

### スペインやイタリアはイラン戦争への米軍基地の使用を拒否

米国の同盟国でも、スペインやイタリアなどの政府は、このイラン攻撃を国連憲章違反の攻撃と批判し、その攻撃のための米軍基地の使用や領空通過を拒否しています。高市政権も戦争に反対し、米軍基地の使用を拒否すべきです。

### 沖縄に新たな基地の押し付けはやめて

米国言いなりの高市政権は、沖縄の辺野古・大浦湾の海を埋め立て、新基地建設をこり押ししています。それは沖縄と日本を無法な戦争に巻き込む道です。完成の見込みもなく、環境を破壊するだけの新基地建設は、ただちに中止すべきです。



辺野古新基地建設工事の中止と  
普天間基地撤去を求める署名にあなたも！



## 辺野古新基地建設反対の抗議船での死亡事故について

3月16日に、沖縄の辺野古新基地建設に反対する市民運動体「ヘリ基地反対協議会」の運行する船が修学旅行生を載せて転覆し、高校生と船長が死亡する、痛ましい事故が起きました。尊い命を失う絶対にあってはならない事故です。ヘリ基地反対協議会はこの事故を真摯に反省し、犠牲者への償いと、事故原因の究明、再発防止に全力を挙げています。私たちも、人命を何よりも大切に、こうした事故が絶対に起こらないようにする立場で、この事態に向き合っています。  
※以下は、ヘリ基地反対協議会のホームページに掲載されている文章です

## 辺野古沖での船舶転覆事故に対する謝罪と対応について

2026年4月2日 ヘリ基地反対協議会

去る3月16日、辺野古沖での修学旅行の海上視察中に発生した船2隻の転覆事故により、乗船していた高校生と船長の2人が亡くなるという取り返しのつかない事態を招きました。

何よりもまず、亡くなられた高校生に心からお詫び申し上げます。平和を学び、命の尊さを知るための活動の場で、あろうことか私たちがその尊い命を守りきれなかったことに対し、深く重い責任を感じております。

家族を突然奪われたご遺族の皆様、被害にあわれた皆様、大切な友人を亡くされた高校生の皆様、多大なるご心労をおかけした学校関係者と保護者の皆様、ならびに関係各位に対し、筆舌に尽くしがたい悲しみを与えてしまいましたことを、深くお詫び申し上げます。

私たちは今回の事故の責任団体として、各機関による事故原因究明に全面協力するとともに、被害者の皆様及びご遺族への謝罪と償いに全力を注いでまいります。

事故原因について、私たちから発表できる段階になりましたら、改めてご報告させていただきます。

## 3月16日の事故における乗船目的および事実関係について

2026年4月8日 ヘリ基地反対協議会

去る3月16日に発生した辺野古沖での船舶事故に関し、亡くなられた生徒様、怪我をされた生徒様、保護者の皆様、および同志社国際高校の皆様に対し、改めて衷心よりお詫び申し上げます。

現在、一部の報道やインターネット上において、乗船された生徒様や学校側が「基地建設への抗議活動」を目的として基地建設の現場に訪れていたかのような情報が散見されます。しかし、責任団体として以下の通り、事実関係を明確に説明させていただきます。

### 1. 乗船の目的について

今回の乗船は、学校側が企画した「平和学習」の一環であり、沖縄が抱える社会課題や現状を直接見学し、多角的な視点から学ぶための純粋な社会見学を目的としたものでした。

生徒様および引率の教職員の皆様は、抗議行動に参加するために基地建設現場を訪れたものではありません。未来を担う若者が、自らの目で現場を見、自らの頭で考えるという真摯な学びの場として提供されたものでした。

### 2. 船舶の運用について

当該二隻の船舶は、当協議会が普段は抗議行動に使用していますが、今回はあくまで「学習・見学用」として使用しておりました。

生徒様や学校側は、サンゴ礁の海の美しさや工事の現状を現地で見聞するための「見学者」という立場であり、今回の事故の責任は、平和学習の場として安全を確保すべき立場にありながら、それを果たせなかった当協議会にございます。

### 3. 学校および生徒様への配慮のお願い

亡くなられた生徒様、怪我を負われた生徒様、および深い悲しみの中にいらっしゃる学校関係者の皆様に対し、これら皆様の基地建設現場来訪の趣旨に反する、誤解を招く発信がなされることは、当協議会としても誠に遺憾であり、さらなる心の傷を負わせるものと危惧しております。

亡くなられた生徒様をはじめ、今回の平和学習に参加された生徒様のご心情にご配慮頂き、事実と反する情報の発信・拡散はお控えいただきますようお願い申し上げます。

私たちは、命の尊さを伝えるべき場において最悪の結果を招いた責任を重く受け止め、引き続き事故原因の究明と、ご遺族・関係者の皆様への誠心誠意の償いに全力を尽くしてまいります。

以上